企画展

1 培広庵（ばいこうあん）コレクション 美人画の雪月花

2025年４月19日［土］－ ６月15日［日］

一般：1,000（900）円　大学生：800（700）円　高校生以下無料　｜　展示室３

江戸時代の浮世絵で人気を博した「美人絵」は、明治以降に「美人画」へと発展しました。美人画は大正時代に黄金期を迎え、現代でも人々の心を魅了しています。本展では、日本有数の美人画コレクションである「培広庵コレクション」から87点を厳選し、上村松園、鏑木清方、伊東深水、竹久夢二など様々な作家による美人画を、四季の移ろいに合わせて紹介します。

上村松園《板可里舞図》 1935年頃

2 アートまるケット

脳はダマせても⇄身体はダマされない#05

2025年４月26日［土］－ ７月13日［日］

観覧無料

2015年度からはじまった日比野克彦館長ディレクション「アートまるケット」。11回目となる今回は昨年始動した「つなぐ人日比野克彦」プロジェクトによって世界へと広がったルドンコレクションによる交流の輪を紹介します。

ART MARKET

アートまるケット 2024の様子

5 古墳時代から織部、そして現代へ

―土岐市美濃陶磁歴史館の名品と土岐市の寺社の文化財―

2025年８月23日［土］－ 11月３日［月・祝］

一般：800（700）円　大学生：600（500）円　高校生以下無料　｜　展示室1,2

土岐市美濃陶磁歴史館のコレクションから名品を選び、土岐市の寺社に伝わった貴重な文化財を加え、当地で育まれてきた優れた造形美を古墳時代から現代までたどります。元屋敷陶器窯跡出土品（重要文化財）の織部など美濃桃山陶や、小山冨士夫、塚本快示などの作品、そして仏像、書画などを展示します。

《鳴海織部向付》桃山時代（17世紀初頭）
土岐市美濃陶磁歴史館蔵　元屋敷陶器窯跡出土

7 大正・昭和‘モード’の源泉

―国立美術館 コレクション・ダイアローグ―

2025年11月15日［土］－ 2025年２月15日［日］

一般：1,000（900）円　大学生：800（700）円　高校生以下無料　｜　展示室３

2020年に石川県金沢市に移転、開館した国立工芸館は工芸専門の国立美術館として国内外の近現代工芸・デザイン作品を収集、調査研究し、多種多様な魅力を発信し続けています。
アール・ヌーボー、アール・デコなどをはじめ、日本固有の感性によってそれらを見事に融合させた大正から昭和初期の陶磁器、金工、ガラス、グラフィックデザインなど国立工芸館所蔵品を中心に当館所蔵の絵画や工芸作品をあわせて展示します。
時代を鮮やかに彩った‘ロマンティック・モダン’をぜひご覧ください。

杉浦非水《トモエ石鹸》
1926年　国立工芸館蔵

8 モンスーンに吹かれたように

―大移動と交流のアフリカ－アジアの現代美術―（仮）

2026年３月13日［金］－ ６月14日［日］

一般：1,000（900）円　大学生：800（700）円　高校生以下無料　｜　展示室３

現代は人類の移動と交流の上に成り立っています。織田信長の時代でさえ家臣となった弥助がアフリカにある現在のモザンビーク出身と推測されるように、グローバル化した現代においてもその移動と交流はさらに加速します。アフリカでの移動、そしてアジアにいたる交流から生まれる現代美術の諸相をご覧ください。

ジョエル・アンドリアノメアリリア
《ある自画像についての観念 XII / L'idée d'un autoportrait XII》
2024年 個人蔵

3 令和７年度岐阜県青少年美術展

2025年７月５日［土］－ ７月13日［日］

観覧無料　｜　展示室３ほか

青少年への美術の普及のため、広く県内から作品を公募し、一般に公開する展覧会です。青年部と少年部があり、青年部は絵画、デザイン、立体造形、書道、写真の５部門、少年部は絵画・デザイン、書写の２部門を公募します。

4 清流の国ぎふ芸術祭　第６回ぎふ美術展

2025年８月９日［土］－ ８月24日［日］

観覧無料　｜　展示室３ほか

どなたでも応募できる公募展です。日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、自由表現の７部門の入賞・入選作品を展示します。会期中には、各分野の第一線でご活躍されている審査員などによる作品講評会やクロストークも開催します。

6 ねんりんピック岐阜 2025 美術展

2025年10月18日［土］－ 10月21日［火］

観覧無料　｜　展示室３ほか

「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の方を中心とするスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典です。ねんりんピック美術展では、全国から募集した高齢者の作品（日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の６部門）を展示します。

所蔵品展

一般 340（280）円 / 大学生 220（160）円　｜　展示室１ほか

A 2025年４月８日［火］－ ７月13日［日］
生誕120年 矢橋六郎とその時代
マルク・シャガール《サーカス》／ 近代ドイツ版画
象徴主義からナビ派まで－ルドンと19世紀末フランスの画家たち

B 2025年５月１日［木］－ ７月13日［日］
美を纏（まと）う－朝長染織コレクションを中心に

C 2025年７月24日［木］－ 11月３日［月・祝］
岐阜県美術館コレクション名品選
塔本シスコの花鳥苑

D 2025年９月５日［金］－ 10月５日［日］
ふらっとぱ～く：見る、触れる、話す、感じる、考える（仮）

E 2025年11月５日［水］－ 2026年３月29日［日］
生誕120周年 坪内節太郎 ／ 没後130周年 牧野伊三郎
ルドンと音楽
見慣れない風景

F 2025年11月26日［水］－ 2026年３月15日［日］
グラフィックデザインの曙－加藤孝司とシルクスクリーン

G 2025年12月２日［火］－ 2026年３月29日［日］
ぎふの日本画

矢橋六郎《家が建つ》1958年

加藤孝司
《グランド印刷 / ポスター》
1965年

オディロン・ルドン
《神秘的な対話》
1896年頃

アトリエ　観覧無料

アーティストイッミュージアム AiM

アーティストが公開制作、作品展示を行います。
アートが生まれる瞬間をぜひご覧ください。

Vol.17　ニュー銀座堂（ぎんざどう）

2025年４月19日［土］－５月31日［土］

岐阜柳ヶ瀬商店街にある、表現者のためのサードプレイス。代表・渡邊百恵と若手作家たちが美術館に場所をうつし、ニュー銀座堂の日常を再現します。

AiM 参加作家による作品たちとニュー銀座堂代表 渡邊百恵

Vol.18　向井（むかい）大祐（だいすけ）

2025年10月30日［木］－ 12月14日［日］

美濃紙、各務原特産の絵絹などを使いこなし、大河ドラマ「べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～」の筆遣い指導、劇中画制作等でも活躍。岐阜市生。AiM 初の日本画公開制作です。

向井大祐《小山の桜》2023年 個人蔵

展示室４　観覧無料

県民ギャラリー

毎週様々な団体による展覧会を開催しています。詳細は当館 Web サイトをご確認ください。

ミュージアムの女 特別編 ©宇佐江みつこ

「筆記具」

「すれちがい」

『ミュージアムの女』ほか、最新情報は当館公式 SNS にて配信中！